

埼玉県鶴ヶ島ジャンクション周辺地域における基本計画の概要

計画のポイント

- ・「優れた交通アクセス」「埼玉県先端産業創造プロジェクト実績」「自動車関連企業に蓄積された高度なものづくり技術」という地域特性を活用する。
- ・農業大学校跡地を中心としたアクセス良好なエリアに戦略的に先端産業等を集積、区域内の中小企業に波及効果をもたらす。
- ・IoT、ビッグデータ、AIなど先進のICTをものづくりに活用し、生産性や品質管理の向上、技術革新を図り、超スマート社会を実現する。

促進区域

埼玉県鶴ヶ島ジャンクション周辺地域（川越市、飯能市、東松山市、狭山市、入間市、坂戸市、鶴ヶ島市、日高市、毛呂山町、越生町、川島町、吉見町、鳩山町）の13市町

経済的効果の目標

新規立地1件あたり平均152百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を20件創出し、事業拡大1件あたり平均75百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を5件創出する。これらの事業が促進区域で1.5倍の波及効果を与え、促進区域で3,715百万円の付加価値を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること（①～③のいずれか）】

- ①大学などのIoTやビッグデータ、AI等の知見を活用した第4次産業革命関連分野
- ②埼玉県先端産業創造プロジェクトで重点的に支援するロボット、航空・宇宙等関連産業の集積を活用した成長ものづくり分野
- ③輸送用機械器具製造業や関連する金属製品製造業等の集積を活用した成長ものづくり分野

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：4,984万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 取引額：5.6%増加
- 売上：5.6%増加
- 雇用者数：4.4%増加
- 雇用者給与等支給額：1%増加

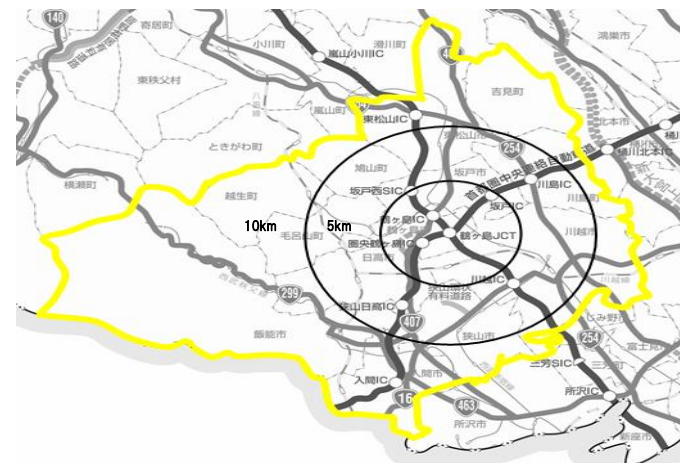
制度・事業環境の整備

- ・優良な産業用地の提供、補助制度等
- ・大学・研究機関等の知見活用
- ・スマート工場に対応する情報通信インフラ（例：LPWA）の整備

地域経済牽引支援機関

埼玉県産業技術総合センター、国立研究開発法人理化学研究所、（公財）埼玉県産業振興公社、地域大学、埼玉県立高等技術専門学校、各市町の商工会議所・商工会、金融機関 等

《促進区域図》



《第4次産業革命関連分野及び先端産業のイメージ》

IOTイメージ



計画期間

平成29年12月22日から平成35年3月31日まで